

第2回

地域の交通に関する意見交換会 (第1回意見交換会の振り返り)

第1回意見交換会の開催概要

バス、鉄道、タクシー、船舶をはじめとした公共交通は、少子高齢化の進行に加え、新型コロナウイルス感染症の影響も重なり、利用者の減少と、それに伴う収入の減少、さらには、昨今の物価高騰等による費用の上昇など、厳しい状況に置かれている。

その現状について知っていただき、地域の交通を維持し、より良くすることを目的として、呉市では、令和5年11月～12月に市内18地区で意見交換会を開催し、合計316名の方にご参加いただいた。

意見交換会では、課題やアイデアなどを書き込んでいただいた付箋紙を地図上で分類して、整理した。その上で、グループ毎に要点を発表し、参加者同士で課題やアイデアなどを共有した。

開催概要

開催日時	令和5年11月18日(土)～令和5年12月10日(日)
開催場所	市内18か所

第1回意見交換会のプログラム

開会挨拶	呉市から開会趣旨や目的を説明
公共交通の現状について説明	呉市の現状や運転手不足等の公共交通を取り巻く問題点や、国の取組みの動向を説明
地域の現状について説明	各地区の人口や公共交通の現状について説明
意見交換会について説明	意見交換のテーマや実施方法について説明
意見交換	グループ毎に以下の2テーマについて、ワークショップ形式で意見交換を実施 <u>テーマ1：</u> <u>あなたの地域でどんな「移動の困り事」がありますか。</u> <u>テーマ2：</u> <u>地域の交通でどこからどこへいきたいか、どうすれば使いやすくなるか。</u>
各グループで出た意見の共有化，質疑応答	意見交換の結果をグループ毎に発表し，参加者間で共有，質疑応答
閉会	

会場の様子



第1回意見交換会で挙げた主な意見

テーマ1：あなたの地域でどんな「移動の困り事」がありますか。

地区	課題	解決策
広, 宮原, 仁方, 郷原	高齢者が増えて買い物・通院弱者が多い。	移動販売車を増やす。利用しやすいバス停環境づくり。乗合タクシーを運行する。
宮原, 昭和, 阿賀	買い物に行き, 大きな荷物を持って帰ることが難しい。	企業に賛助金を出してもらい, 買い物バスを運行する。移動販売車を増やす。帰りはタクシーを活用。
吉浦, 宮原, 昭和, 仁方	坂, 段差が多い。	小型車両を活用して, きめ細やかに運行する。
吉浦, 天応, 川尻	道路が狭いが, 車両の速度が早く, 危険である。	速度制限し, 路面にペイントする。カーブミラーの増設, 注意喚起の標識を設置する。道路マップの作成。
広, 警固屋	車椅子, ベビーカーでの移動が難しい。	道路・歩道の改良, ノンステップバスの導入

第1回意見交換会で挙がった主な意見

テーマ2：地域の交通でどこからどこへ行きたいか、どうすれば使いやすくなるか。

地区	課題	解決策
昭和, 天応, 仁方, 倉橋	広島方面, 呉市内, 江田島市, 東広島市に買い物, 通院で行きたい。(年代, 目的により異なる)	曜日を限定するなど, 何かを我慢する発想を持つ。便数を増やす。運賃を上げて良い。
仁方, 安浦	広の国際通り, 国際大学(黒瀬)に行きたい。	新規ルートを設定する。
広	バスで行きたいところが少ない。	スーパーと医療施設が入った複合施設にバスが乗り入れて, 車椅子・高齢者手押し車が店舗と近い場所で乗降できるようにする。
警固屋, 昭和, 倉橋, 豊浜	最終電車を降りた後にバスがない。また始発電車に間に合うバスがない。終バスが早く, 部活帰りに使えない。通学に使えない。	早朝, 深夜の利便性を高める。終バス時間の延長。
阿賀, 蒲刈, 倉橋, 豊浜, 豊	直通便がなくなった(無い)ので不便。	倉橋・阿賀～鍋棧橋～呉駅の料金を上げてでも直通にする。豊～広島行きの再開。せめて呉まで運行する。豊浜～仁方・広島行きの船があれば利用したい。

第1回意見交換会で挙がった主な意見

テーマ2：地域の交通でどこからどこへ行きたいか、どうすれば使いやすくなるか。

地区	課題	解決策
昭和, 中央, 安浦	バスルートが大回りなので不便。	病院を経由するルートを新設する。デマンドバスをフレキシブルに運行する。
阿賀, 中央, 蒲刈, 音戸, 倉橋	バス停の待合環境が悪い。乗継が不便。	トイレ, ベンチ, 上屋の設置。運行本数の増加。
吉浦, 天応	駅のスロープが, 施錠されており, 使えない。	スロープが使えるようにする。エレベーターを設置する。
広, 安浦, 豊浜	JRとバスの接続が悪い。JRの便数が少ない。	JRと広電, 瀬戸内産交が連携してダイヤ調整する。(使いたい方面を考慮)
昭和, 郷原, 豊浜, 豊	バス停までが遠い。	小型車両を活用して, きめ細やかに運行する。フリー乗降を導入する。バス停を移設する。
広, 宮原, 警固屋, 中央, 下蒲刈	運行ルート, 乗り継ぎ, 時刻表, バス停の位置がわかりにくい。	わかりやすいルート設定にする。時刻表を一括化(フォーマット化)する。目的地とバスの時刻がリンクするような情報など情報発信を充実させる。

第1回意見交換会で挙げた主な意見

テーマ2：地域の交通でどこからどこへ行きたいか、どうすれば使いやすくなるか。

地区	課題	解決策
宮原, 警固屋, 音戸, 倉橋, 豊浜	いきいきパス(高齢)の割引率が高すぎる。昼間に1人しか乗っていないのは申し訳ない。	いきいきパス(高齢)を100円ではなく, 子ども料金にする。また高校生の割引率を上げる。
蒲刈, 安浦, 豊浜, 豊	タクシーの料金が高い。安芸灘大橋の通行料金の負担が大きい。	タクシーを年齢に応じた運賃体系にする。
蒲刈	蒲刈～広地区まで行くとバス運賃が高い。	運賃に上限を設定, 補助金を確保する。
広, 仁方	交通空白地(交通不便地域)がある。	地域内循環バスの運行, ライドシェアを活用する。
吉浦, 安浦	タクシーの利用できる時間が限られる。台数, 運転手が少ない。	ライドシェアを活用する。
宮原, 川尻, 蒲刈, 音戸	免許返納後に生活できるかが不安。	高齢者向けのタクシー助成券を発行する。バスの本数を充実させる。
倉橋, 豊	バスの運転手が少ない。	運転手の給与アップ。NPOによる運送を検討する。